

重度障害者へのリハビリテーションの取り組み

～障害者支援施設の理学療法士の立場から～

重度の障害があっても、福祉機器の活用の工夫、リハビリテーションの取り組み次第で、出来ることを増やしていき、QOL向上を目指すことが出来るかもしれません。本セミナーでは一人の障害ある方と理学療法士を中心としたスタッフの実践的な取り組みを紹介します。

対象者

福祉施設、医療機関のPT・OT・ST、看護師、介護士及び福祉用具事業者の方など

セミナー内容

- ・八王子療護園と私(自己紹介)
- ・福祉機器、リハビリ機器の活用と工夫で自立度をアップ
- ・症例紹介から ご利用者のT氏の過去、現在、未来



マシンで上肢のトレーニング中のT氏

講師

川上 孝耶氏 リハ主任(理学療法士)
社会福祉法人もくば会 八王子療護園(障害者支援施設)

略歴:2009年 帝京平成大学 健康メディカル学部 理学療法科卒業
2009年～2011年 初台リハビリテーション病院勤務
2011年～2016年 栃木県医師会 塩原温泉病院勤務
2016年～2019年 タツミ訪問看護ステーション勤務
2019年～八王子療護園 現在に至る



日時

2026年7月24日(金) 16:30～17:30

申込方法

下記URLから、または右記の二次元コードからお申込みください。
<https://www.abilities.jp/com/event/arc11>
※ZOOMにて300名までご参加いただけます。
※ZOOMのURLは、後日メールでお送りいたします。



お問合せ

アビリティーズ・ケアネット株式会社 本店営業部 本店営業所 施設営業チーム
電話:03-5388-7537 担当:中山 匠

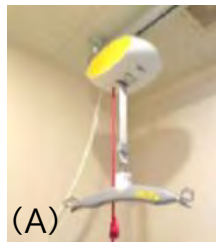
【八王子療護園】

理事長小玉広輝氏ご自身が50年前に受傷し重度の障害者となりましたが、障害当事者が中心となり主に身体障害の方を受け入れる無認可の作業所(若駒の家)の運営に関わられました。後に前身となる心身障害者通所授産施設「木馬工房」が昭和60年に開所され、多様な障害者持つ方々を受け入れる作業所となり、「自己変革」「社会変革」「就労の場の確保」を柱に運営に取り組みられました。

平成15年2月に法人認可(社会福祉法人もくば会)を受けられ同年4月に身体障害者療護施設「八王子療護園」を開所され、平成23年3月に身体障害者療護園を廃止、障害者支援施設「八王子療護園」として再出発されました。

前身の「木馬工房」時代から一貫されて「自分たちで何とかする」という考えが基本にあり「ともに生き、ともに創る」、「誰であろうと困っている目の前の人を見過ごさない」という理念が生まれ、ご利用者の人権、人格を尊重し、その人らしい楽しく潤いのある暮らしの実現のために、日々専門職種の各スタッフの方々中心に相互協力し運営に取り組みられています。

また、近年ではケアの質の向上のために、研修の充実を図られるとともに、補助金等を活用して天井走行リフト(A)、見守りカメラ(B)、記録システム、デジタルインカム(C)等のICT機器類を取り入れ積極的に活用しております。



【講師:川上孝耶氏】

栃木県宇都宮市で1987年1月に誕生し、幼少期は那須郡小川町(現;那珂川町)で過ごす。高校時代(大田原)、サッカーに夢中でしたが大きな怪我をし、治療を受けた医師をからりハビリの仕事を紹介され理学療法士を目指すきっかけに。

初たりハビリテーション病院時代、当時の理事長に新宿の公園のホームレスの人達の往診に同行。分け隔てなく患者に接する理事長の姿勢に大いに影響を受けた。現在勤務している八王子療護園の理念にも通じる。

※セミナーでは、ご利用者のTさんへのリハビリテーションに

よるQOL向上への取り組みの様子、Tさんの生活の変化の紹介が中心ですが、専門職種の内の一人として、職場のICT化へ取り組まれている様子もご紹介いただきます。



【利用者:T氏】

平成19年当時、お住まいのアパートの2階から転落され受傷し、頸椎損傷により四肢体幹機能障害に。それまではご自分で飲食業などされ、海外へも良く行かれていたとのこと。



平成30年に八王子療護園に入所されましたが、その当時は生活介護を受けるために入所され無気力な状況であったとのこと。やがて様々なスタッフの方との出会いから車いすのままでも自分の出来ること増やし、自分らしくあろうと。青字の文章は入所当時動かなかった手をリハビリによってPCのマウスを操作できるようになり、綴られた詩の一部です。(原文どおり)

「私はよく、車いす生活になる前に歩いたり走ったりしていた夢を見ます。15年前にはなかった不自由な体という現実の「今」がありますが、早朝に外へ出て深呼吸すると、自然は決して私を裏切りません。……」

※セミナーではT氏のリハビリの様子をご本人にも登場いただく予定です。